

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2 職員の配置数は適切であるか	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日の朝礼を活かし、指導・療育方法の検討などを実施している。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後の検討課題としたい。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部の研修は新型コロナウイルスの影響により、機会が減っている。代わりに、毎月、事業所内研修を実施している。今年度は、児発管からの研修提供を中心に、サポーター全員が講師役となり、研修を実施した。
適切	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			言語聴覚士が国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査、遠城寺式・乳幼児分析的発達検査を実施している。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			まずは該当児童自身・保護者のニーズに基づいて設定している。また、目標は多すぎてしまうと、逆に支援の実際に活かしきれないケースも出てくるため、精査して設定している。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			

な 支 援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		月2回の個別支援計画策定会議、毎日の朝礼で支援・活プログラムの検討を行っている。また今年度より、個別支援計画とともに、個別の活動プログラム・タイムテーブルを作成し、職員で共通理解を図っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		職員一人ひとりの得意分野を出せるよう、工夫するとともに、支援の振り返りをしながら、プログラムの検討を実施している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○		今年度、個別支援計画の様式を変更し、ガイドライン項目を示すようにしている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		打ち合わせを毎日実施し、それぞれの役割分担を明確にするよう、工夫している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		送迎等でその日のうちに実施することは難しいが、次の日に振り返りや、情報交換を実施している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		ケース記録に毎日、記録をしている。今年度1月より、手書きからパソコン入力に変更し、閲覧しやすいうように変更している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者と担当者が必ず参加するようにしている。Jきつず内での実施の場合は、職員全員が参加した。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○	常にではないが、今年度は子ども・子育て応援センター、児相と連携した支援を実施したケースがあった。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		/	/	該当児童なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		/	/	該当児童なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			園・聾学校の先生から情報をいただいたりしている。聾学校の先生には、Jきつず内での支援を見学していただき、助言等をいただいた。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			今年度、全職員がwebでの研修に参加できた。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	新型コロナウイルスの影響により、機会を持つことはできていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	新型コロナウイルスの影響により、機会を持つことはできていない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時・電話連絡・連絡帳でのやり取りにおいて、情報共有に努めている。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		送迎時・電話連絡・連絡帳でのやり取りにおいて、情報共有に努めているが、ペアレント・トレーニング等は実施できていない。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		重要事項説明書の改訂についても、保護者へ文書にてお知らせし、了承を得ている。また、文書を目にしやすい入り口付近に掲示している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		個別支援計画は、ガイドラインの支援項目・内容を示すよう、様式を変更した。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		送迎時や電話連絡等で随時実施している。 新型コロナウイルスの影響により、難しい時期もあるが、落ち着いた時期には、面談での話し合いなどを実施した。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	新型コロナウイルスの影響により、機会を持つことはできていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		細かな要望に対しても、職員間で情報共有を行い、適切に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、「Jきっずだより」を発行している。新型コロナウイルスの影響があるため、施設内の様子などがわからない保護者のために、施設内の様子や避難訓練の様子などを「Jきっずだより号外」としてお知らせした。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	新型コロナウイルスの影響により、機会を持つことはできていない。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難訓練を2回、実施した。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		担当者を決め、その都度実施している。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待・いじめ問題などの内容に関して、法人全体研修や事業所内研修で実施している。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		